

# ボランティア定着のヒント

---

## ◆はじめに

ボランティア活動といえば多くの方は「無償」であることをイメージするかと思います。その「無償」というイメージがあるためにボランティアは人件費のかからない労働力と勘違いされることがあります。確かにボランティアの皆さんは労働力を提供していますが、人件費を受け取らなくても、彼らが労働力を提供してくれるのは「自発的」であるからです。この「自発的」であることを忘れ、仕事を振っているとボランティアの方々は仕事を押し付けられたように感じ、負担に思ったり、不信感が高まったりします。このような心理的な変化が起きるため、最初は意欲的だったボランティアの皆さんが次第に離れていき、「ボランティアが定着しない」という課題を多くのNPO団体や市民活動団体が×状況に陥っているように思われます。

このような状況から脱するために、本ガイドではボランティアを「無償」のものとして捉えるのではなく、一人一人の自由意思による「自発的」なものとして捉えていきます。そのため、本ガイドは**人々が自発的にあなたの活動に関わりたくなるようなボランティア活動**を作るためヒントです。是非あなたの活動に一人でも多くの人に関わり定着するために役立ててください。

## 目次

### はじめに

### 日本のボランティアの現状

- ーボランティア活動関心の有無
- ーボランティアに参加している理由
- ーボランティアの参加に妨げになる理由

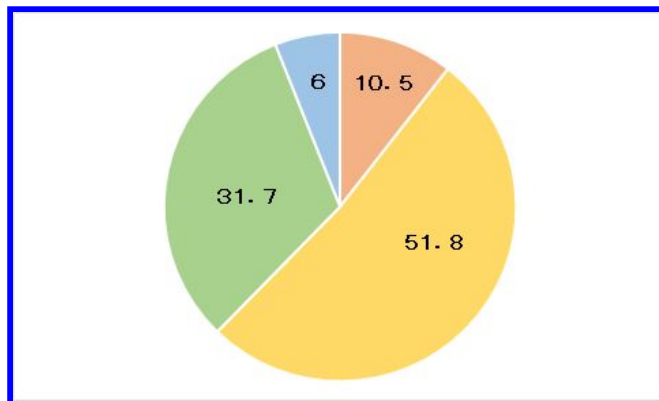
### ボランティア定着のための3つの要素

- ー居場所であること
- ー意味を感じられること
- ー出会いがあることについて

### おわりに

## ◆日本のボランティアの現状

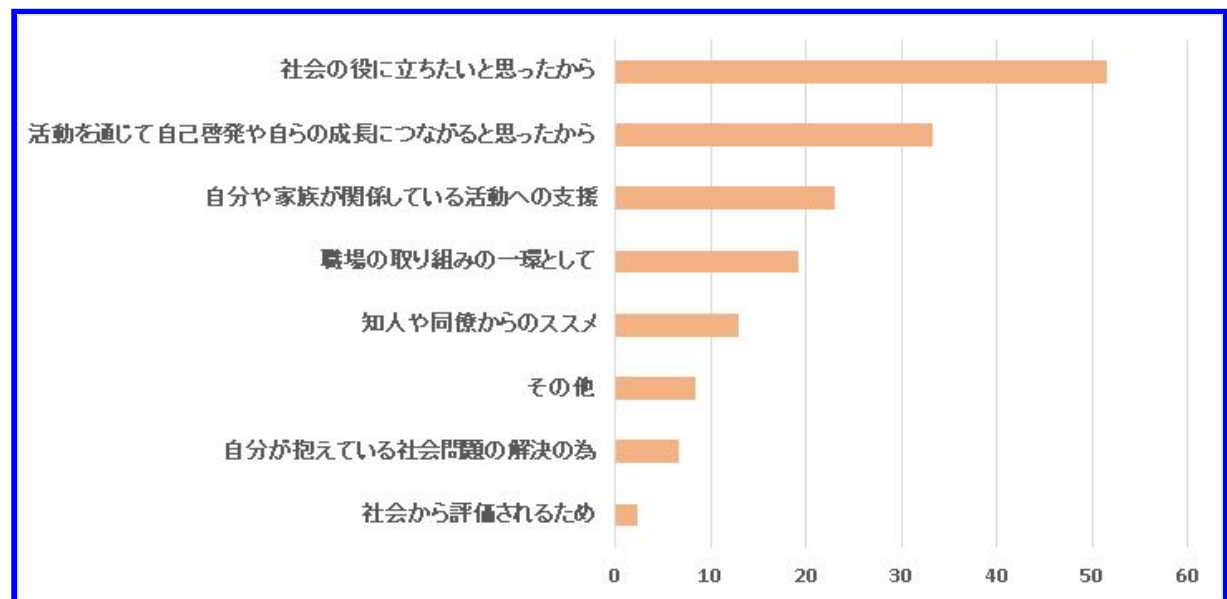
### ボランティア活動への関心の有無



赤・・・とても関心がある 10.5%  
黄・・・すこし関心がある 51.7%  
緑・・・あまり関心がない 31.7%  
青・・・まったく関心がない 6%

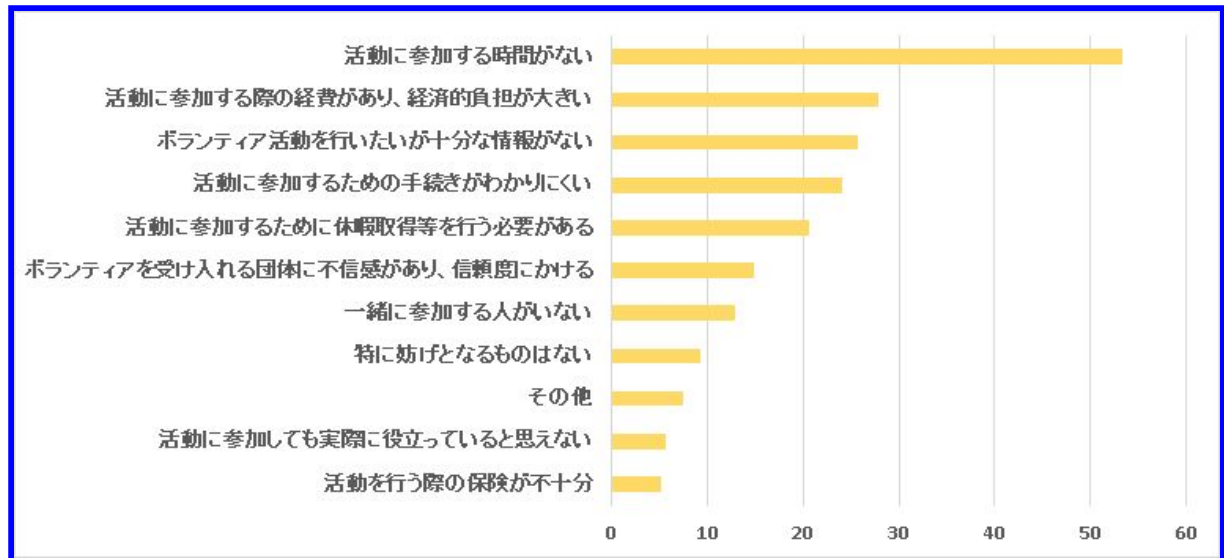
ボランティアに関心のある層は赤、黄を総じて62.2%となり、受け入れ方次第ではこれらの層を活動に取り込むことが出来るだろう。

### ボランティアに参加している理由



「社会に役に立ちたいと思ったから」という理由が51.3%と過半数を超えている。それに次いで33.3%で「活動を通じて自己啓発や自らの成長につながると思ったから」という理由が挙げられている。これらのことから「ボランティアに参加する人自身の成長」を促進するということと「社会に貢献しているという実感」を創ることが重要であると言えるだろう。

## ボランティアの参加の妨げになる理由



「活動に参加する時間がない」という声が53.4%と最も高くなっている。その他経済的な理由や情報不足などの理由も挙げられている。ライフスタイルによって空き時間が異なることを考えるとかわり方の選択肢は多い方がいいかもしれない。また、情報発信や交通費の支給なども併せて検討すると効果的であるといえるだろう。

### ◆ボランティア定着のための3つの要素

ボランティアとして関わってくれる人材を定着させるためにボランティア活動の捉え方を「無償」のものではなく「自発的」なものとして捉える必要があると「はじめに」で述べた。そこで「自発的」なものとしてのボランティアを実現するために必要な要素を以下の3つの要素にまとめた。以下の3つの要素をあなた自身の活動に取り入れ、参加者の自発性を高めるために役立ててもらいたい。

- 居場所であること
- 意味を感じられること
- 出会いがあること

### ◆「居場所であること」について

ボランティア活動に参加した時にボランティアの方が感じることは「自分はここにいていいのだろうか」「邪魔になるだけではないか」不安の気持ちです。せっかく善意で来てくれているにも関わらず、NPO側が受け入れる準備をできていなかったり、ボランティアの方が気軽に受け入れ側に相談できるような関係ができていなければボランティアの方は不安になり、「もう二度とこない」ということも起きかねません。そのような状態では定着することはないでしょう。

### ◆仕組みづくりのポイント！

「居心地がよく、ここに居たい」と思える場づくりを心がける。

#### ◆アクション例

- ①ボランティア開始前に数分だけでもボランティアの方々のための時間を創る。
- ②活動実施中には参加者のニーズにマッチした明確で役割を与える。
- ③「ボランティアさん」ではなく「〇〇さん」と名前と呼ぶ。
- ④ボランティア実施後に数分だけでもボランティアの方々のために時間を創る。

#### ◆実施のためのポイント！

あなたは家族や友達、仲間などの大切な人と関わる時にはどのように関わるのでしょうか？ボランティアで来たとしてもその人は「ボランティアさん」ではなく、人格を持ち、あなたの活動に関わりたいという気持ちを大小の個人差はあれど持っている一人の人です。その人にとっての安心できる居場所になるためにも初めてきたら「あなたと会えてうれしいです！」、帰る時には「あなたと一緒に居られて嬉しかった！」ということ言葉を態度で伝えましょう。歓迎されているということが伝わらなければ「また来たい！」とは思いません。「人を大切にする」という視点で現在のボランティア参加者への対応を振り返ってみてくださいね！

#### ◆意味を感じられること

ボランティア活動では見えにくい成果ですが、実は成果が見えないままだと活動が結局どんな効果を生んでいるのかがわからず、その活動の意味を感じにくいものです。しかし、成果が伝わり、ボランティア活動に意味を感じられるということは自己実現につながり、「もっと頑張ろう」という気にさせてくれるものです。ここではその成果について2つの視点で見ていきましょう。

#### ◆仕組みづくりのポイント

- ①ボランティア活動によってあなたの組織が変化している。
- ②ボランティア活動によって参加者が成長している。

#### ◆アクション例

- ①ボランティア開始前に前回の反省点、改善点を共有し、その日の実施に生かす。
- ②ボランティア実施中は個人の動きに目を配り、その人の良いところと改善してもらいたい点を記録する。
- ③ボランティア終了後には振り返りを行い意見を聞き出す。
- ④ボランティア終了後にはフィードバックを伝える。
- ⑤写真、動画などを用いて活動結果を報告し、共に喜び合う。
- ⑥「私の仕事は〇〇です」とボランティアの人が明確に言える役割を創る。

#### ◆実施のためのポイント！

あなたは仕事をしていて「この仕事に何の意味があるんだろう？」と感じたことはないでしょうか？仕事の場合、意味を感じなかったとしても「契約」ですので動いてくれるかもしれませんが、ボランティアはそうではありません。無駄だと感じたり、嫌だと感じたら簡単にやめることが出来ます。だからこそ、その仕事の意味や重要性を伝え、自発的に動いてもらわなくてはなりません。ですのでその人に与えた役割の意味を何度伝えても伝えすぎということはありません。人は任せられると期待されている気持ちになりますし、それにこたえたいと自然に思うものです。大切なのはボランティア参加者自身が「そこに居る意味を知っ

ている」ことです。「実施の指針」で述べた二つの視点で今一度ご自身の活動を振り返ってみてくださいね！

#### ◆「出会いがあること」について

私たちの生活を彩ってくれるのは誰かと一緒に過ごす時間や体験です。人とのかかわり方や関係性によって私たちの毎日は変わってくるでしょう。ボランティア活動は普段つながることのできない人たちと活動を通じてつながる機会となります。多様な人から刺激を受け、職場や学校、家族以外のコミュニティの中で過ごすことは刺激を受けたり、励ましあえたり出来るものです。そのようなつながりづくりを積極的に行い、ボランティアの方同士でつながることを促進することが出来れば、ボランティア活動に人が定着しやすくなるでしょう。ここではコミュニティとしてのボランティアについて考えてみましょう。

#### ◆実施の指針！

ボランティア活動がコミュニティとしての役割を担う。

#### ◆アクションプラン

- ①ボランティア会議や交流会を実施し、関係者間の交流の機会を継続的に作る。
- ②ボランティアの方に新しく参加するボランティアの方の指導をお願いする。
- ③ボランティアのFacebookグループなどを創り、情報共有に使用する。

#### ◆実施のためのポイント

あなたは「つながり」ときいて誰を思い浮かべるでしょうか？会社の同僚や家族、中学や高校の同級生かもしれません。しかし、それらのつながりはすでに膠着していたり、利害が絡んでいたりで意外と自分が感じていることを言えなかったりするものです。ボランティアを通じて知り合った人々は目的を共有していたり、価値観が近しかったりするので、「生まれた場所が近くだった」、「たまたま職場が同じ」というような理由ではなく「志を同じくしている」人たちとつながる機会となります。なぜならあなたの活動に共感し、ボランティアとして関わっている為です。是非、あなたのボランティア活動は「人がつながる機会となっているか？」を見直してみてくださいね！

#### ◆おわりに

冒頭にも書かせて頂きましたがボランティアは「無償」の単なる人手や人件費を支払わなくていい都合のいい労働力ではありません。あなたがもしご自身の組織のボランティアさんだとして、あなたの組織はどのように映るでしょうか？あなたの組織のボランティア活動はボランティアに参加してくださる方の自発性を引き出すものとなっているでしょうか？何度も申し上げておりますがボランティアは「自発」的に行われるものです。人々が自発的にあなたの組織、活動に関わりたくなる仕掛けを創ることが出来れば人々は「自発」的にあなたの活動に関わってくれるでしょう。そのためには上記で申し上げたように、「大切な人として扱われること」や「活動の意味を感じられること」、「あなたの活動がコミュニティとしての機能を持つこと」などが重要になってきます。これらを実現することで継続的に関わりたくなるボランティア活動が実現され、結果的にあなたの活動にボランティアが定着するでしょう。このガイドを読み、あなた自身の中で活動を振り返ったこれからが始まりです。一つ一つ試しながらより良い活動を作り上げていきましょう。